

まちの話題

12月18日[Sun]

中央校女子 全国中学校駅伝大会で11位の好成績！



▲全国を舞台に活躍された中央校女子駅伝チーム

第30回全国中学校駅伝大会が開催され、東原庫舎中央校女子駅伝チームが見事11位の好成績を収められました。さらに、3区で2kmを担った光岡琴奈さんが、15人を抜く圧巻の走りを見せ、区間賞を獲得しています。

全国大会の切符を手にしながらも新型コロナの影響で中止となった2年前。晴れて開催が決まった今回は新チームで臨み、素晴らしい結果を残しました。

区間賞に輝いた光岡さんは「チームに貢献したいという気持ちで走りました」と笑顔。小川朋子監督は「全員が同じ思いで走り、強い総合力で勝ち取った順位。今回の結果を皮切りに、さらに成長してくれたら嬉しいです」と期待を込めて話されました。



1月7日[Sat]

女山大根まつり



▲品評会で横尾市長から市長賞を受け取る富永正美さん

女山大根まつり（主催：西多久町を考える会）が西多久公民館で開催され、市内外から約50人が参加しました。このイベントは多久市の伝統野菜「女山大根」をPRし、販路と消費を拡大するために行われているものです。

会場では、七草粥・女山大根を味わう会や、その年の出来具合を競う品評会に出品された大根の即売会、重量あてクイズなどが行われました。

味わう会では、七草粥と、GI登録記念を機に考案された女山大根を使った新メニュー3種「女山大根臭豆腐」「新ふろふき大根」「女山ぷりん 初恋」がふるまわれ、参加者はその優しい味に舌鼓を打っていました。

1月11日[Wed]

児童センターあじさいで鏡開き！



▲ぜんざいをおいしくいただきました

児童センターあじさいで鏡開きが行われ、来場者にぜんざいがふるまわれました。

ぜんざいには、昨年12月25日(日)に開催され、約100人の親子連れや地域ボランティアが参加した餅つき体験の鏡餅を使用しています。餅つき体験では、ボランティアの助けをうけながら、子どもたちがきねと臼を使った昔ながらの餅つきを体験し、上手にお餅をつき上げました。

鏡開きに参加した親子は「コロナ禍で季節を感じる行事に参加することが難しい中、親子で楽しめるイベントが開催されてとてもうれしい。子どもたちも美味しそうにお餅を頬張ってくれてよかった」と笑顔で話されました。

